



2018-19年度
国際ロータリー会長
バリー・ラシン

Weekly Report Niigata



2018~19 年度
新潟ロータリークラブ会長
若槻 良宏



インスピレーションになろう

国際ロータリー
2018-19 年度テーマ

インスピレーションになろう

新潟 RC 11月第 1 例会 (2018.11.6) No.3256

- (1) 「君が代」 斉唱
ロータリーソング「奉仕の理想」 斉唱
(2) 若槻 良宏会長挨拶

皆様こんにちは。今年は、職業奉仕委員会のプロジェクトの中で、「4つのテスト」を紹介する機会が多いです。そこで、本日は、4つのテストについて話をさせていただきます。

ご存知のとおり、4つのテストは、倒産の危機に瀕していた米国の調理器具メーカーを再建させるために作られたものです。私は、法律の実務家として、企業の倒産処理とりわけ、事業再生を専門領域として業務を行っております。また、新潟大学の法学部において、倒産法、事業再生のゼミを担当しています。事業再生に関わる者として、4つのテストはとて興味深い指標といえます。

4つのテストの提唱者は、シカゴRCの会員であったハーバート・テラー(以下「テラー」といいます。)です。テラーは、シカゴの食品会社の役員でしたが、銀行からの依頼で、1932年、倒産の危機に瀕していた調理器具メーカーの社長に就任しました。テラーは、従業員に正しい考え方にに基づき正しい行動をとってもらいたいと考え、4つのテストをまとめ上げたこのことです。会社の従業員はこの4つのテストを実践し、1937年までに、会社の負債は完済され、その後の15年間で株主に対して100万ドル以上の配当が支払われたこのことです。このように、4つのテストは、その沿革からして、①倒産の危機に瀕していた企業を再建させるための現実的な指標であり、かつ、②その名宛人は従業員ということになります。

その後、4つのテストは、1943年に国際ロータリーの公認となり、1954年にはその著作権が国際ロータリーに移転し、社会奉仕の理念の台頭とともに、商取引以外の場面でも適用される指標として発展していきました。

今一度、4つのテストの原文を見てみますと、前文は「The Four-Way Test of the things we think, say or do」とあります。「Test」が単数形になっています。これは、4つの指標の組合せという趣旨ではなく、4つのまとまりで1つの指標という意味になるのだと思います。つまり、4つを全て実行することが大切だということです。

1項は、「Is it the truth?」です。日本語訳は「真実かどうか」で

す。第2680地区の田中毅PDGは、商取引においては、「事実かどうか」という言葉を用いるべきでしょうと、述べられています。これに対し、「物事の原理・原則、根本原理に適合しているのか」と理解するのが良いとの見解もあります(国際ロータリー2660地区ロータリー百科事典参照)。

2項は、「Is it fair to all concerned?」です。日本語訳は「みんなに公平か」です。田中毅PDGは、fairは「公正」に、all concernedは「全ての取引先に対して」と解釈すべきであると述べられています。確かに「公平」は平等と同義に使われますので、言葉としては、公正のほうが適切かもしれません。私は、「衡平」という解釈もありうるのではないかと考えます。「衡平」とは釣り合うこと、バランスを考えることです。法律の世界では、形式的平等を是正し、実質的平等を意味する概念として、「衡平」が用いられることがあります。「みんなに公平か」となります。また、allについては、4つのテストがロータリーで発展してきた経過からすれば、現在においては取引先に限定する必要はないのかもしれない。

3項は、「Will it build good will and better friendships?」です。日本語訳は「好意と友情を深めるか」です。自分の考えや行いが、他者との好意・友情を一層密にするかという内面の問いかけであるとの解釈でしょうか。これに対し、田中毅PDGは、沿革を重視し、商売上の信用とか評判、良い人間関係を築き上げて取引先を増やすという意味であると述べられています。

4項は、「Will it be beneficial to all concerned?」です。日本語訳は「みんなのためになるかどうか」です。田中毅PDGは、沿革を重視し、すべての取引先に利益をもたらすかという意味であると述べられています。4つのテストが、現代においては、商取引に関連する場面よりも広く適用されるとすれば、「みんなのためになるか」、「みんなの役に立つか」という解釈が自然ではないかと考えます。

このように、4つのテストについては、商取引上の指標としての沿革を重視するのか、ロータリーでの発展過程を重視するのかによって、解釈は変わりうるものなのです。解釈を固定化させるのではなく、適用場面に応じて考えてみるのが大切なのではないでしょうか。次に、4つのテストは、これを実践したからといって、必ず業績が回復するものではないはずで、他方で、これを実践しないと、業績は悪化すると合理的に推測できるものであり、ミニマムな倫理基準といえるのではないでしょう

か。最後に、4つのテストは、経営者が一人で実践すれば良いものではなく、従業員と共有するなどして、周りに影響を与えることが大切なのではないでしょうか。

4つのテストを学び、語り、広めることは、ロータリーを学び、語り、広めることにつながるものと思います。引き続き、皆様とともに4つのテストについて学んでいきたいと考えております。

(3) ビジターの紹介

- ・森口 浩紀君(京都 RC)
- ・本間 長市君(新潟南 RC)

(4) 米山奨学生

ソド チャンドマニチメグさん 奨学金贈呈

(5) 新会員紹介



東北電力(株)上席執行役員
新潟支店長
高野 広充君
ご紹介 武田 眞二君
所属委員会 出席委員会

はじめまして。本年6月に着任した高野と申します。この度、日高商事高橋会長様、日本海エル・エヌ・ジー武田社長様からのご推薦を賜り、歴史と伝統ある新潟ロータリークラブに入会させていただきました。大変名誉なことと深く感謝申し上げます。昭和35年5月秋田県(鳥海山の麓)生まれ、昭和59年東北電力株式会社入社。直近11年間は本店総務部にて総務・防災・株式・法務等を経験しました。趣味は、落語鑑賞、昭和歌謡で、加えて新潟に来て以来「乗り鉄」に夢中です。新潟の鉄道は路線数が多く県内を幅広くカバーしており、10月までに駆け足ですが県内一巡し、続いてじっくり堪能すべく二巡目に突入しています。新潟での居住もロータリークラブでの活動も全く初めての経験ですが、ワクワク感でいっぱいです。新潟の地を足繁く動き、顔の見える対話、汗のかく活動を心がけたいと思います。今後のご指導をよろしくお願いいたします。

(6) 100%出席バッチの贈呈

小林 敬直君 27年

(7) 誕生日お祝い贈呈(7名)

(8) 結婚記念日お祝いの紹介(10名)

(9) 委員会報告

・古田インターアクト委員長より12月23日実施の新潟5校インターアクトクラブ献血活動協賛のお願い

(10) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(古田 秀衛委員)

田村貫次郎君 小田 等君
樋熊 紀雄君 古田 秀衛君

米山奨学会寄付発表(新田 幸壽委員長)

仙石 正和君 小林 敬直君

吉田 和弘君

青少年育成基金寄付発表(田中堅一郎委員長)

池上 茂樹君 津久井勝之君

細野 義彦君 田中堅一郎君

(11) ニコニコボックス紹介(武田 眞二委員)

・武田 眞二君 高野 広充さんの入会を歓迎しニコニコします。35年前の11月6日 ここイタリア軒で結婚式を挙げさせて頂きました。これも何かの縁と感謝しております。

・中山 哲克君 東北電力(株)上席執行役員新潟支店長高野様のご入会を祝してニコニコします。

・樋熊 紀雄君 ①結婚記念日の花有難うございました。結婚して50年、喜怒哀楽、紆余曲折の中過ごしてきました。今後お互いに杖となって過ごしていきたいと考えます。②第15回新潟医師臨床研修講習会が11月2日、3日両日イタリア軒で開催され、タスクとして参加しました。タイトな作業で疲れました。専門医育成プログラムの追行にこの講習会が役立つことを祈っています。③11月1日新病移転し、業務を開始しました、今後ともよろしくお祈りいたします。

・塚田正幸君 11月2日の新潟日報に弊社のビン牛乳製造設備入れ替え(回収したビンを洗う洗ビン機、ビンの小さな傷や異物を排除する検ビン機、牛乳を充填してキャップをする充填機、及び付帯するコンベヤ、ステンレスパイプ配管など)の記事を掲載して頂きました。最新の安全性を確保してお客様に信頼される商品をお届けして販売増を目指します。今回の設備導入には第四銀行と日本政策金融公庫から融資して頂きました。

・高橋 秀松君 結婚記念日のお花有難うございました。

(12) 幹事報告(大澤 強)

・例会終了後、新会員オリエンテーションを4階「雪の間」で開催致します。

・地区大会参加の方の名札は幹事が持参致します。
11日のバスの発車はシルバーホテル 8時 NEXT 8時10分です。

(13) 11月 6日例会の出席率 75.28%

会員数 93名(出席免除会員 7名)

出席者 73名(出席免除会員 3名を含む)

(2週間前メーク後 79.12%)

11月20日の例会予定「会員スピーチ」

(株)新潟総合テレビ取締役新潟営業本部長 川下 総一君
岡三にいがた証券(株) 代表取締役社長 金井 政則君

11月6日 理事会報告 出席者10名

1 退会届の件

カメイ(株)新潟支店 支店長 堀 盛富君=承認

2 12月21日のロータリー保育園訪問をメー
キャップ扱いとする件=承認

3 12月23日のクリスマス年末年始献血呼び
かけキャンペーンをメーキャップ扱いとする件=
承認

4 11月のプログラム=承認

11月6日 卓話なし

11月13日 ロータリー財団について
得永哲史ロータリー財団委員長

11月20日 会員スピーチ
株新潟総合テレビ
取締役新潟営業本部長 川下総一君
岡三にいがた証券(株)
代表取締役社長 金井政則君

11月27日 ガバナー公式訪問

5 ガバナー公式訪問のスケジュール等について
ガバナー公式訪問スケジュール計画書を幹事より
説明、例会前に会長他役員と懇談会を行う

6 ミャンマー医療支援プロジェクトの進捗状況
について=(徳永昭輝役員より状況報告)
医療機器については準備が整い、贈答先はサンピ
ア病院になる見込み、現地RCと連携を取りなが
ら進めていく。今後の課題として、贈呈式の日程
決め、参加者・参加者の交通費等負担等が必要に
なる為、詳細計画ができ次第理事会にて諮る。

7 川瀬年度地区大会の会長会の議案書の取扱い
について(ガバナー選出の分区輪番制の運用につい
て)

若槻会長より川瀬年度地区大会 会長会議案書
(ガバナー分区輪番制の件)をもとに説明。

⇒議案書に賛成の承認を得るが、議案書承認後問
題提起は行っていく。

(石本理事PGより)

別紙R I 2560 地区・ガバナー指名委員会スケジ
ュール表・ガバナー及び規定審議 会代表議員(石
本理事作成資料)について説明と新潟RC理事会
へ問題提起あり。